





# ナトゥーラ 16年4Qに業績を改善も



販売チャネルの多様化を積極的に推進し、経営陣を刷新したナトゥーラが、2月23日、2016年第4四半期(10-12月期)決算を発表した。

17年の打開策はいかに

ナトゥーラの店舗

利益は前年同期比38.8%増の2億180万レアルで、金融機関8社の平均(1億6700万レアル)を上回った。当期純収入は前年同期比1.6%減の23億レアルで、こちらはほぼ予想された水準だった。利払い前・税引前・減価償却前利益(EBITDA)は同20万減の4億6200万レアルだった。

# 落ち込みの挽回ならず 株価も最大の値下がり

# 国境付近の採鉱の規制緩和へ 投資の呼び込みの活性化に

連邦政府は、国境地帯における採鉱活動の見直しを計画している。規制を緩和することで業界への投資の呼び込みにつながる。国内の鉱物資源生産にも弾みがつくと受け止めている。

3月にカナダで開催が予定される資源業界の国際的なイベントで、外国人投資家に対してブラジル当局が説明する方向で調整を進めている。大統領府の国防審議会(CDDM)によると、11州1万5719キロに及ぶ国境線から150キロのエリアが国防地帯と位置づけられており、国土のおよそ27%にも相当する。

1979年に施行された法律により、この国防地帯では、採鉱活動を含む様々な活動が規制されている。だが、連邦政府はこの規制の改正に向けて動き出している。ブラジル地質調査局(DGEG)は、鉱物資源調査(RM)と鉱物資源調査(RM)のエドゥアルド・ドシヤム総裁によると、同機構は既に、将来的に国防地帯に関心を抱いている。

# 外国旅行の需要が拡大 レアル高の後押しを受け

外国旅行の需要が拡大 レアル高の後押しを受け

外国旅行の需要が拡大 レアル高の後押しを受け

# 鋼材の輸入が年明けに拡大 国内メーカーの脅威に

鋼材の輸入が年明けに拡大 国内メーカーの脅威に

鋼材の輸入が年明けに拡大 国内メーカーの脅威に

# 聖市、首都間で高速鉄道 投資は400億レとも

聖市、首都間で高速鉄道 投資は400億レとも

聖市、首都間で高速鉄道 投資は400億レとも

# 鉄鋼事業をアルセロールと合併へ

鉄鋼事業をアルセロールと合併へ

鉄鋼事業をアルセロールと合併へ

## B-side

経済ニュース速報 & データベース

- コピー&ペーストで報告書が作成可能な最新のビジネスニュースをいち早く入手したい
- データベース化された情報を利用したい
- 求めるニュースや話題を伝えてインタラクティブに情報入手・交換したい

効率的に連携させて 効果的な利用が可能です

そんな「したい」を、B-Side Solutionsがお手伝いいたします。

お問い合わせは、サイト運営会社の B-Side Solutions Ltda. へ。

Rua Apeninos, 665 1ºand. Sala3 Paraíso - São Paulo - SP Tel: (11) 3271-5680

## B-side からのお知らせ

### 龍谷大学同窓会南米支部が発足

龍谷大学経済学部1期生(昭和40年卒)でパラグアイ在住の島崎允也(しまざき・ゆ)氏が発起人となり、さる6月10日、サンパウロ市内で、パラグアイとブラジルの龍谷大学OBにより龍谷大学同窓会南米支部が発会しました。

南米支部は当面、社会学部2期生(平成5年卒)の美代賢志(みよ・けんじ)氏が世話人となり、調査・翻訳会社「B-side」の事務所を連絡先とします。OBリストへの登録を希望する方は kenji\_miyohotmail.comまでメールにて連絡ください。

ニッケイ俳壇

(927)

小斎椰子 選

東 比呂

マナウス 遭き出し大河の行方稲光

○四季春秋のうすい、夏の国マナウスに在つて詠う稲光の句は、一味違ふ作品でした。稲光りの中を漕ぎ出して行く舟、稲妻も大河も知り尽くした、アマゾン河に生きる人々には日常のことなどと思はれますが、風土を抱えた一句です。

ある日は不気味に、ある日は長閑に、そんな大河アマゾンの姿を巧みに表現されました。

マナウス アチバイア 吉田 繁

チャピアに多めの餌撒くお正月

夏草に負けじと撒布除草剤

○お正月だからと、今日は餌箱に多めに取りわけ撒いた餌、いままでも池底で陸んでいたチラピアがさざ波を立て近づき、群上がり餌を奪いあう、そんなチラピアにキラキラと光る夕陽です。

二句共、身近に素材を求めて詠う作者のさりとらとした、しかしまさきと見えるひと心の優しい一句となりました。

マナウス アチバイア 簡井あつし

真夜出逢ふ月下美人と老人と

晴天の続く庭に梅を干す

○見事な省略の一句です。闇と月下美人を詠った句は少なくありませんが、夕闇から咲き始め真夜中に咲き終わる、その純白の一夜の花に對峙して詠っている、この句に幾年月を越えて来た老人と詠っているの、この句に幾年月を越えて来た月下美人の一句だと思えます。

老人はきつと、どんな芸術品よりも、四季に巡り咲く花に、闇にめぐり会ふ月下美人に心が安らぐのでしよう。秀品です。

マナウス アチバイア 宮原 育子

懸命な孫の日本語御慶かな

世話の良く届く人居て初句会

○いつもは離れて住んでいる孫達が、祖父父母に敬意を表して、母に教えられた、たどたどしい御慶を述べてくれる。身にしみて、うれしいお元日です。

マナウス アチバイア 児玉 和代

移る世に貰ふも出ずも減る賀状

木下開大樹の隙間に空の碧

押しつぶされそう極暑に耐へて歩す

炎天に黙々と信者庭清め

マナウス アチバイア 武田 知子

古暦月日の重さ捨てかねて

師の白寿心より祝賀初句会

じつとして居れず老夫の仕事初め

元日や雑煮作りに我娘の家へ

マナウス アチバイア 山田かおる

サツと来てサツと去にし帰省の子

夏日傘淋しき時は深くさし
アチバイア 菊池美佐枝
月下美人の旅程に遅れ咲く
マナウス 柿の実チラホラ目につく店先に
水中花遠き昔の物語
アチバイア 池田 洋子
乾杯の声待ち遠しビール注ぎ
マナウス 山口 くに
部屋中を真赤に染めて夕大焼
マナウス 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
アチバイア 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
マナウス 魚市場並ぶ魚も今日の秋
アチバイア 一瞬空をさいて電光が走り、驚いて付ちつく
マナウス 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
アチバイア 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
マナウス 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
アチバイア 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
マナウス 稲光り愛馬顔寄せ野良帰

夏日傘淋しき時は深くさし
アチバイア 菊池美佐枝
月下美人の旅程に遅れ咲く
マナウス 柿の実チラホラ目につく店先に
水中花遠き昔の物語
アチバイア 池田 洋子
乾杯の声待ち遠しビール注ぎ
マナウス 山口 くに
部屋中を真赤に染めて夕大焼
マナウス 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
アチバイア 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
マナウス 魚市場並ぶ魚も今日の秋
アチバイア 一瞬空をさいて電光が走り、驚いて付ちつく
マナウス 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
アチバイア 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
マナウス 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
アチバイア 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
マナウス 稲光り愛馬顔寄せ野良帰

夏日傘淋しき時は深くさし
アチバイア 菊池美佐枝
月下美人の旅程に遅れ咲く
マナウス 柿の実チラホラ目につく店先に
水中花遠き昔の物語
アチバイア 池田 洋子
乾杯の声待ち遠しビール注ぎ
マナウス 山口 くに
部屋中を真赤に染めて夕大焼
マナウス 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
アチバイア 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
マナウス 魚市場並ぶ魚も今日の秋
アチバイア 一瞬空をさいて電光が走り、驚いて付ちつく
マナウス 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
アチバイア 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
マナウス 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
アチバイア 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
マナウス 稲光り愛馬顔寄せ野良帰

夏日傘淋しき時は深くさし
アチバイア 菊池美佐枝
月下美人の旅程に遅れ咲く
マナウス 柿の実チラホラ目につく店先に
水中花遠き昔の物語
アチバイア 池田 洋子
乾杯の声待ち遠しビール注ぎ
マナウス 山口 くに
部屋中を真赤に染めて夕大焼
マナウス 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
アチバイア 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
マナウス 魚市場並ぶ魚も今日の秋
アチバイア 一瞬空をさいて電光が走り、驚いて付ちつく
マナウス 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
アチバイア 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
マナウス 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
アチバイア 稲光り愛馬顔寄せ野良帰
マナウス 稲光り愛馬顔寄せ野良帰

ニッケイ歌壇

(531)

上妻博彦 選

武地 志津

夏の我が子に幾度もゆめもめて呉る冷房装置

いつ迄も決まらぬ我が根負けが使わず有りし扇風

機持ち来(く)

取り外し利かぬ回転羽根の塵(ちり)拭(ぬぐ)

入院の弟見舞えば填(ほ)められし鼻腔の管に亡

娘(こ)がまさと踊(う)

六月(むつき)まえ訪ね来たりし旧友の今は癌病

む運を嘆く

「評」 勿体ない世代には其感を呼ぶ作品。も

あさがおに小型の蝶が羽たみ花に入り込み蜜吸
マナウス 竹田 照子
ミニ菜園虫の被害の多くして一喜一憂取種少な
マナウス 平間 浩二
屋下がり今日の務めと庭に出て芽生えしばかりの
マナウス 玉田千代美
苗に水やる
マナウス 森西 茂行
紫に紅に街路のクワレズマ時得たりしと咲き誇る
マナウス 三宅 珠美
なり
マナウス 遠山 洋
緑の葉かつぎ行く蟻の行列にスプレーかける我れ
マナウス 小斎 椰子
は鬼かも
マナウス 湯山 洋

あさがおに小型の蝶が羽たみ花に入り込み蜜吸
マナウス 竹田 照子
ミニ菜園虫の被害の多くして一喜一憂取種少な
マナウス 平間 浩二
屋下がり今日の務めと庭に出て芽生えしばかりの
マナウス 玉田千代美
苗に水やる
マナウス 森西 茂行
紫に紅に街路のクワレズマ時得たりしと咲き誇る
マナウス 三宅 珠美
なり
マナウス 遠山 洋
緑の葉かつぎ行く蟻の行列にスプレーかける我れ
マナウス 小斎 椰子
は鬼かも
マナウス 湯山 洋

あさがおに小型の蝶が羽たみ花に入り込み蜜吸
マナウス 竹田 照子
ミニ菜園虫の被害の多くして一喜一憂取種少な
マナウス 平間 浩二
屋下がり今日の務めと庭に出て芽生えしばかりの
マナウス 玉田千代美
苗に水やる
マナウス 森西 茂行
紫に紅に街路のクワレズマ時得たりしと咲き誇る
マナウス 三宅 珠美
なり
マナウス 遠山 洋
緑の葉かつぎ行く蟻の行列にスプレーかける我れ
マナウス 小斎 椰子
は鬼かも
マナウス 湯山 洋

あさがおに小型の蝶が羽たみ花に入り込み蜜吸
マナウス 竹田 照子
ミニ菜園虫の被害の多くして一喜一憂取種少な
マナウス 平間 浩二
屋下がり今日の務めと庭に出て芽生えしばかりの
マナウス 玉田千代美
苗に水やる
マナウス 森西 茂行
紫に紅に街路のクワレズマ時得たりしと咲き誇る
マナウス 三宅 珠美
なり
マナウス 遠山 洋
緑の葉かつぎ行く蟻の行列にスプレーかける我れ
マナウス 小斎 椰子
は鬼かも
マナウス 湯山 洋

平成二十九年献詠歌募集要綱

靖国神社では、大正三年より御創立記念日(六月二十九日)に合わせ全国各地から

献詠の和歌を募集しております。

当日は御創立記念日祭の後に献詠披露式が斎行され、預選歌は古式に則り御神

前へ披露されており、募集した全ての献詠歌も御神前へ御供えしてあります。

本年も左の要綱により募集致します。多くの献詠歌を御応募戴き度御願ひ申し

上げます。

尚、みたま祭(七月十三日〜十六日)にお捧げする俳句の募集も致してありま

すので、要項御希望の方はお申し出下さい。

平成二十九年一月吉日

靖国神社社務所

兼 題

一、選 者

一、兼 題

一、選 者

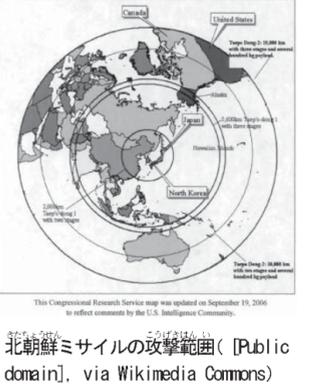
Form with fields for name, address, telephone number, and other contact information for the poetry contest.



3月7日版

# 朝鮮戦争の準備をはじめた米国

## 分裂した国内をまとめるため?



北朝鮮ミサイルの攻撃範囲 (Public domain), via Wikimedia Commons

最近、あちこちで「アメリカは朝鮮戦争の準備を開始した」という話を聞きます。著名な先生方も語られていますし、いろいろな国のメディアでもとりあげられています。ロシアでも、そのように報じられていました。今日は、ウォール・ストリート・ジャーナル (WSJ) 3月2日付を見てみましょう。

▼なぜアメリカは、戦争準備をはじめたのか？

WSJ 3月2日は、「アメリカが北朝鮮攻撃を検討していること」を報じています。

「米政権、北朝鮮への武力行使も選択肢に」ウォール・ストリート・ジャーナル 3/2 (木) 8:42 配信

北朝鮮による核兵器の脅威に対応するため、トランプ米政権が武力行使の準備を開始したと、WSJが報じている。米政権は、北朝鮮の核兵器開発を阻止するため、武力行使も選択肢に含めていると、WSJが報じている。

トランプ米政権は、北朝鮮の核兵器開発を阻止するため、武力行使も選択肢に含めていると、WSJが報じている。

トランプ米政権は、北朝鮮の核兵器開発を阻止するため、武力行使も選択肢に含めていると、WSJが報じている。

▼問題是中国の出方と地上軍派遣

中国の出方は、北朝鮮の核兵器開発を阻止するため、武力行使も選択肢に含めていると、WSJが報じている。

中国の出方は、北朝鮮の核兵器開発を阻止するため、武力行使も選択肢に含めていると、WSJが報じている。

中国の出方は、北朝鮮の核兵器開発を阻止するため、武力行使も選択肢に含めていると、WSJが報じている。

中国の出方は、北朝鮮の核兵器開発を阻止するため、武力行使も選択肢に含めていると、WSJが報じている。

中国の出方は、北朝鮮の核兵器開発を阻止するため、武力行使も選択肢に含めていると、WSJが報じている。

▼非情世界の裏側

「本物の裏側」笑顔を隠すウラで熱心に情報活動をする世界。相手が隠しておきたい情報を、手段を選ばず盗聴し、辞任に追いやる。この裏側を、WSJが報じている。

「本物の裏側」笑顔を隠すウラで熱心に情報活動をする世界。相手が隠しておきたい情報を、手段を選ばず盗聴し、辞任に追いやる。この裏側を、WSJが報じている。

「本物の裏側」笑顔を隠すウラで熱心に情報活動をする世界。相手が隠しておきたい情報を、手段を選ばず盗聴し、辞任に追いやる。この裏側を、WSJが報じている。

▼絶対音感

「絶対音感」とは、音を聴くだけで、その音の高さを正確に認識する能力のこと。これは、生まれつきの才能とされている。しかし、近年の研究では、絶対音感を持つ人は、その能力を後天的に獲得しているという説も出てきている。

「絶対音感」とは、音を聴くだけで、その音の高さを正確に認識する能力のこと。これは、生まれつきの才能とされている。しかし、近年の研究では、絶対音感を持つ人は、その能力を後天的に獲得しているという説も出てきている。

「絶対音感」とは、音を聴くだけで、その音の高さを正確に認識する能力のこと。これは、生まれつきの才能とされている。しかし、近年の研究では、絶対音感を持つ人は、その能力を後天的に獲得しているという説も出てきている。

▼問題是中国の出方と地上軍派遣

中国の出方は、北朝鮮の核兵器開発を阻止するため、武力行使も選択肢に含めていると、WSJが報じている。

中国の出方は、北朝鮮の核兵器開発を阻止するため、武力行使も選択肢に含めていると、WSJが報じている。

中国の出方は、北朝鮮の核兵器開発を阻止するため、武力行使も選択肢に含めていると、WSJが報じている。

中国の出方は、北朝鮮の核兵器開発を阻止するため、武力行使も選択肢に含めていると、WSJが報じている。

中国の出方は、北朝鮮の核兵器開発を阻止するため、武力行使も選択肢に含めていると、WSJが報じている。

▼非情世界の裏側

「本物の裏側」笑顔を隠すウラで熱心に情報活動をする世界。相手が隠しておきたい情報を、手段を選ばず盗聴し、辞任に追いやる。この裏側を、WSJが報じている。

「本物の裏側」笑顔を隠すウラで熱心に情報活動をする世界。相手が隠しておきたい情報を、手段を選ばず盗聴し、辞任に追いやる。この裏側を、WSJが報じている。

「本物の裏側」笑顔を隠すウラで熱心に情報活動をする世界。相手が隠しておきたい情報を、手段を選ばず盗聴し、辞任に追いやる。この裏側を、WSJが報じている。

▼絶対音感

「絶対音感」とは、音を聴くだけで、その音の高さを正確に認識する能力のこと。これは、生まれつきの才能とされている。しかし、近年の研究では、絶対音感を持つ人は、その能力を後天的に獲得しているという説も出てきている。

「絶対音感」とは、音を聴くだけで、その音の高さを正確に認識する能力のこと。これは、生まれつきの才能とされている。しかし、近年の研究では、絶対音感を持つ人は、その能力を後天的に獲得しているという説も出てきている。

「絶対音感」とは、音を聴くだけで、その音の高さを正確に認識する能力のこと。これは、生まれつきの才能とされている。しかし、近年の研究では、絶対音感を持つ人は、その能力を後天的に獲得しているという説も出てきている。

# コチア三世団が帰国報告

## 研修旅行でルーツ楽しむ



来社した皆さん

む親戚と再会を果たし、日伯間の生活の違い等について紹介があった。また、瑞穂さんの長男のマテウス功裁くん(14、三世)は、親戚の子らとブリガディオやキーキを作り交流を楽しんだという。

サンパウロ総合大学(USP)で経済学科の

教授を務める功裁くんは筑波大学に訪問し、日本人学生らと交流。「USPでもさらに筑波大学への留学幹事を進めたい」と、同大学に刺激された様子で語った。

自由移動も多かった今回の研修旅行では、複雑な構造の地下鉄で迷うことも多かった。「その都度周囲の人に質問すれば親切に教えてくれて、日本人の温かさを感じた」と瑞穂さん。「東京にも少し滞在したかった」と帰国を残念がった。

「正月を日本で過ごし、楽しんだそう。また今回の旅行について、『三世の微笑んだ草島団長は、故郷の富山県で正月料理をやる様子が見られた』と満

足そうに語った。村田副団長は、「今回の参加者も旅行を通して日本の心や礼儀に触れることが出来た。また必ず実行したい」と次回の開催を意気込んだ。



高良忠清さん



(1)

私は昭和十年(一九三五年)、沖繩那覇市宇小(オロク)屋号新大屋(ミウフヤ)の七男として生まれました。長男から三男までは昭和十一年(一九三六年)に移民としてブラジルにわたり、四男夭折、残った五男、六男、三女と私は両親と一緒に暮らしていました。

シリから一番

七歳になると私は小尋常小学校に入学。成績はいつも後ろから数えて一番でした。一年生が終わる頃、先生から「おまえは落第させるはずだったが皆と一緒に進級させるから今度はうんと勉強しなさい」と言われました。そんなこともお構いなく、二年生になっても勉強する気はまったくありませんでした。

何ページから何ページまで暗記するように先生から宿題を出された日も、家に帰るとカバンを家の中に放り込み、そのまま道に飛びだして遊びまわった。やっとな夕方に家に帰り、まだ父さんが家に帰っていないことを母から確かめると安心してなにはい。それが私の日常でした。

次の日には先生から、高良忠清、暗記してきた何ページから何ページまでを読んでみなさいと言われた。かすかに思い出した一行を読んで後はなし。もう良いから座りなさいと先生も諦めたようだが放課後は残った教室に罰として立たされた。

夕方になり先生も帰宅する時間になると、今日はもう帰ってもよいがもうちょっと勉強するようにと念を押された。そんな時間学校にはもう誰もいなかった。学校から人家のあるところまでの薄暗い三メートルほどの道は恐ろしくなっていくき走って帰った。それから再三罰をうけたがもう遊ばまわるだけで勉強しなればなどとは思わなかった。

こんな具合で、二年生になってもシリから一番。家の中でも勉強の話が出ることはほとんど無かった。母に勉強をするようにといわれたことも無く、手を取って教えてもらったことも無い。

母は貧しい家庭に生まれ八歳の頃から他人の子守りをして働き、学校にも行けず無学のまま育った。あの頃は女に教育はいらないといわれた時代です。自分自身が教育を受けられず、子供に勉強も教えられない可愛そうな母でした。

そんなことから私は何時もクラス中で後から教えて一番、罰で放課後は教室に立たされ、たびたび学校の門を閉めさせられたものです。三年生になる頃には学校にもなれて毎日弁当のイモを抱えて登校。恵まれた家庭の子供達の弁当はお米のご飯でしたが、多くの生徒は家に残ったもので間に合わせていたのです。

ある日、先生が弁当を持ってこなかった人は手を上げなさいと言った。一人の友達の手を上げると、先生は自分の弁当の半分をその子に分け与えた。私は子供ながらの好奇心から先生の弁当はなんだろうと見ていると、それは丸くて真っ黒いものでした。

後でその子になんだったのか聞いてみると、ご飯をノリでまいたものらしかった。あの当時スシなど見たことも食べたこともなかった私には、それはなんとも不思議な食べ物に思えたのです。

こうして貧しいながらも恵まれた自然にかまれば、ゆつたりとした時の流れの中で、毎日思いつき遊びまわりますが、私の子供時代が過ぎ去っていった。

# 岡村中将が講演会

## 邦画も上映、広島で



岡村アンジェロ中將

ブラジル広島文化センター(平崎幹之会長)は、陸軍情報通信システム部司令官の岡村アンジェロ中將を招き、「陸軍の現状と情報通信システム部」をテーマとした講演会を行う。15日午後7時から広島県人会館(Kita-Tenjin, 800)同時通訳あり。日本語講演会の前には午後5時から、岡村中將と同じ階

6年にブラジル移住して、戦後、彼らと離れて呼び寄せられた。那覇市小塚は、那覇港、那覇空軍司令部に囲まれた交通の要衝だったため、沖繩戦の際にはまさき艦隊射撃の標的にされた激戦地だ。

《昭和十九年(一九四四年)十月十日、朝七時頃、第一回目の空襲が始まる。空襲は、飛んできた敵の艦載機であり、薄暗くなるほど、詳細はブラジル広島センター事務所(11-3207-5476/3208-8501)まで。

1955年に家族で渡伯。最初は農業のちに、出聖して建林店を経営するまでになった。ブラジルの宇小(オロク)屋号新大屋(ミウフヤ)の会長を務めるまでになり、現在では「人生の腰刀」を過している。これは「腰刀」の意味で、一年の収穫を終え、喜びながら、一日を踊って過ごす習慣のこと。

大規模な研究にも対応できる。国立大の運営費交付金が削減されるなど、基礎研究費の不足は深刻で、公募制度に魅力を感じる研究者が増える可能性がある。

現時点では制度に対する学術界の警戒感が強い。防衛省幹部は「基礎研究がすぐ軍事に転用されるわけではない。制度を続けていけば、徐々に警戒感が薄れるのではないかと話した。

# 軍事研究で学術会議声明案

## 学問の自由で「待った」

### ▽反発

【共同】日本学術会議の検討委員会は防衛省の研究公募制度について「政府の介入が著しく、問題が多い」と指摘した。声明案をまとめた。国防力強化策の一環として進める同制度に、科学者が巻き込まれつつあることに對して、学問の自由を旗印に掲げた「待った」をかけた形だ。ただ、声明に強制力はなく、防衛省は2017年度以降、研究予算の大幅増を予定している。研究費不足に悩む研究者や大学にとつて制度は魅力で、声明が歯止めになるかは分からない。

総会の採決で過半数の支持を得られる内容であることが不可欠だ。禁止すると反発を招くことを懸念した杉田氏は、制度の廃止や応募の禁止を前面に出さず、倫理面の審査の難しさや防衛省による強い介入の危険性といった問題点を並べ、大学側の応募に一定の歯止めをかける方向性を打ち出した。

「大学の自治」の重要性を強調することだった。防衛省研究では、研究の進み具合などを防衛省側が細かくチェックする。秘密保持などを理由に、学内に大学側が関与できない防衛省の「聖域」がつけられるのは避けなければならないと杉田氏は考へたという。

公募制度は新技術を開発する手段を省き、効率的に技術開発に反映できるメリットがある。16年度の応募は44件。うち大学、高等専門学校が23件と過半数を占めた。山口東理科大学は金属の表面を硬くする技術、大阪市立大は有毒物質の吸着技術の研究が採択され、それぞれ艦艇や航空機の耐久性向上、テロに対応するガスマスクへの応用が見込まれる。別の幹部は「日本の優秀な研究者を取り込めない理由はない」と意義を強調する。

公募制度の助成枠は急拡大している。初年度の15年度は3億6千万円、16年度は6億6千万円、17年度は5億5千万円、18年度は5億5千万円、19年度は5億5千万円、20年度は5億5千万円、21年度は5億5千万円、22年度は5億5千万円、23年度は5億5千万円、24年度は5億5千万円、25年度は5億5千万円、26年度は5億5千万円、27年度は5億5千万円、28年度は5億5千万円、29年度は5億5千万円、30年度は5億5千万円、31年度は5億5千万円、32年度は5億5千万円、33年度は5億5千万円、34年度は5億5千万円、35年度は5億5千万円、36年度は5億5千万円、37年度は5億5千万円、38年度は5億5千万円、39年度は5億5千万円、40年度は5億5千万円、41年度は5億5千万円、42年度は5億5千万円、43年度は5億5千万円、44年度は5億5千万円、45年度は5億5千万円、46年度は5億5千万円、47年度は5億5千万円、48年度は5億5千万円、49年度は5億5千万円、50年度は5億5千万円、51年度は5億5千万円、52年度は5億5千万円、53年度は5億5千万円、54年度は5億5千万円、55年度は5億5千万円、56年度は5億5千万円、57年度は5億5千万円、58年度は5億5千万円、59年度は5億5千万円、60年度は5億5千万円、61年度は5億5千万円、62年度は5億5千万円、63年度は5億5千万円、64年度は5億5千万円、65年度は5億5千万円、66年度は5億5千万円、67年度は5億5千万円、68年度は5億5千万円、69年度は5億5千万円、70年度は5億5千万円、71年度は5億5千万円、72年度は5億5千万円、73年度は5億5千万円、74年度は5億5千万円、75年度は5億5千万円、76年度は5億5千万円、77年度は5億5千万円、78年度は5億5千万円、79年度は5億5千万円、80年度は5億5千万円、81年度は5億5千万円、82年度は5億5千万円、83年度は5億5千万円、84年度は5億5千万円、85年度は5億5千万円、86年度は5億5千万円、87年度は5億5千万円、88年度は5億5千万円、89年度は5億5千万円、90年度は5億5千万円、91年度は5億5千万円、92年度は5億5千万円、93年度は5億5千万円、94年度は5億5千万円、95年度は5億5千万円、96年度は5億5千万円、97年度は5億5千万円、98年度は5億5千万円、99年度は5億5千万円、100年度は5億5千万円、101年度は5億5千万円、102年度は5億5千万円、103年度は5億5千万円、104年度は5億5千万円、105年度は5億5千万円、106年度は5億5千万円、107年度は5億5千万円、108年度は5億5千万円、109年度は5億5千万円、110年度は5億5千万円、111年度は5億5千万円、112年度は5億5千万円、113年度は5億5千万円、114年度は5億5千万円、115年度は5億5千万円、116年度は5億5千万円、117年度は5億5千万円、118年度は5億5千万円、119年度は5億5千万円、120年度は5億5千万円、121年度は5億5千万円、122年度は5億5千万円、123年度は5億5千万円、124年度は5億5千万円、125年度は5億5千万円、126年度は5億5千万円、127年度は5億5千万円、128年度は5億5千万円、129年度は5億5千万円、130年度は5億5千万円、131年度は5億5千万円、132年度は5億5千万円、133年度は5億5千万円、134年度は5億5千万円、135年度は5億5千万円、136年度は5億5千万円、137年度は5億5千万円、138年度は5億5千万円、139年度は5億5千万円、140年度は5億5千万円、141年度は5億5千万円、142年度は5億5千万円、143年度は5億5千万円、144年度は5億5千万円、145年度は5億5千万円、146年度は5億5千万円、147年度は5億5千万円、148年度は5億5千万円、149年度は5億5千万円、150年度は5億5千万円、151年度は5億5千万円、152年度は5億5千万円、153年度は5億5千万円、154年度は5億5千万円、155年度は5億5千万円、156年度は5億5千万円、157年度は5億5千万円、158年度は5億5千万円、159年度は5億5千万円、160年度は5億5千万円、161年度は5億5千万円、162年度は5億5千万円、163年度は5億5千万円、164年度は5億5千万円、165年度は5億5千万円、166年度は5億5千万円、167年度は5億5千万円、168年度は5億5千万円、169年度は5億5千万円、170年度は5億5千万円、171年度は5億5千万円、172年度は5億5千万円、173年度は5億5千万円、174年度は5億5千万円、175年度は5億5千万円、176年度は5億5千万円、177年度は5億5千万円、178年度は5億5千万円、179年度は5億5千万円、180年度は5億5千万円、181年度は5億5千万円、182年度は5億5千万円、183年度は5億5千万円、184年度は5億5千万円、185年度は5億5千万円、186年度は5億5千万円、187年度は5億5千万円、188年度は5億5千万円、189年度は5億5千万円、190年度は5億5千万円、191年度は5億5千万円、192年度は5億5千万円、193年度は5億5千万円、194年度は5億5千万円、195年度は5億5千万円、196年度は5億5千万円、197年度は5億5千万円、198年度は5億5千万円、199年度は5億5千万円、200年度は5億5千万円、201年度は5億5千万円、202年度は5億5千万円、203年度は5億5千万円、204年度は5億5千万円、205年度は5億5千万円、206年度は5億5千万円、207年度は5億5千万円、208年度は5億5千万円、209年度は5億5千万円、210年度は5億5千万円、211年度は5億5千万円、212年度は5億5千万円、213年度は5億5千万円、214年度は5億5千万円、215年度は5億5千万円、216年度は5億5千万円、217年度は5億5千万円、218年度は5億5千万円、219年度は5億5千万円、220年度は5億5千万円、221年度は5億5千万円、222年度は5億5千万円、223年度は5億5千万円、224年度は5億5千万円、225年度は5億5千万円、226年度は5億5千万円、227年度は5億5千万円、228年度は5億5千万円、229年度は5億5千万円、230年度は5億5千万円、231年度は5億5千万円、232年度は5億5千万円、233年度は5億5千万円、234年度は5億5千万円、235年度は5億5千万円、236年度は5億5千万円、237年度は5億5千万円、238年度は5億5千万円、239年度は5億5千万円、240年度は5億5千万円、241年度は5億5千万円、242年度は5億5千万円、243年度は5億5千万円、244年度は5億5千万円、245年度は5億5千万円、246年度は5億5千万円、247年度は5億5千万円、248年度は5億5千万円、249年度は5億5千万円、250年度は5億5千万円、251年度は5億5千万円、252年度は5億5千万円、253年度は5億5千万円、254年度は5億5千万円、255年度は5億5千万円、256年度は5億5千万円、257年度は5億5千万円、258年度は5億5千万円、259年度は5億5千万円、260年度は5億5千万円、261年度は5億5千万円、262年度は5億5千万円、263年度は5億5千万円、264年度は5億5千万円、265年度は5億5千万円、266年度は5億5千万円、267年度は5億5千万円、268年度は5億5千万円、269年度は5億5千万円、270年度は5億5千万円、271年度は5億5千万円、272年度は5億5千万円、273年度は5億5千万円、274年度は5億5千万円、275年度は5億5千万円、276年度は5億5千万円、277年度は5億5千万円、278年度は5億5千万円、279年度は5億5千万円、280年度は5億5千万円、281年度は5億5千万円、282年度は5億5千万円、283年度は5億5千万円、284年度は5億5千万円、285年度は5億5千万円、286年度は5億5千万円、287年度は5億5千万円、288年度は5億5千万円、289年度は5億5千万円、290年度は5億5千万円、291年度は5億5千万円、292年度は5億5千万円、293年度は5億5千万円、294年度は5億5千万円、295年度は5億5千万円、296年度は5億5千万円、297年度は5億5千万円、298年度は5億5千万円、299年度は5億5千万円、300年度は5億5千万円、301年度は5億5千万円、302年度は5億5千万円、303年度は5億5千万円、304年度は5億5千万円、305年度は5億5千万円、306年度は5億5千万円、307年度は5億5千万円、308年度は5億5千万円、309年度は5億5千万円、310年度は5億5千万円、311年度は5億5千万円、312年度は5億5千万円、313年度は5億5千万円、314年度は5億5千万円、315年度は5億5千万円、316年度は5億5千万円、317年度は5億5千万円、318年度は5億5千万円、319年度は5億5千万円、320年度は5億5千万円、321年度は5億5千万円、322年度は5億5千万円、323年度は5億5千万円、324年度は5億5千万円、325年度は5億5千万円、326年度は5億5千万円、327年度は5億5千万円、328年度は5億5千万円、329年度は5億5千万円、330年度は5億5千万円、331年度は5億5千万円、332年度は5億5千万円、333年度は5億5千万円、334年度は5億5千万円、335年度は5億5千万円、336年度は5億5千万円、337年度は5億5千万円、338年度は5億5千万円、339年度は5億5千万円、340年度は5億5千万円、341年度は5億5千万円、342年度は5億5千万円、343年度は5億5千万円、344年度は5億5千万円、345年度は5億5千万円、346年度は5億5千万円、347年度は5億5千万円、348年度は5億5千万円、349年度は5億5千万円、350年度は5億5千万円、351年度は5億5千万円、352年度は5億5千万円、353年度は5億5千万円、354年度は5億5千万円、355年度は5億5千万円、356年度は5億5千万円、357年度は5億5千万円、358年度は5億5千万円、359年度は5億5千万円、360年度は5億5千万円、361年度は5億5千万円、362年度は5億5千万円、363年度は5億5千万円、364年度は5億5千万円、365年度は5億5千万円、366年度は5億5千万円、367年度は5億5千万円、368年度は5億5千万円、369年度は5億5千万円、370年度は5億5千万円、371年度は5億5千万円、372年度は5億5千万円、373年度は5億5千万円、374年度は5億5千万円、375年度は5億5千万円、376年度は5億5千万円、377年度は5億5千万円、378年度は5億5千万円、379年度は5億5千万円、380年度は5億5千万円、381年度は5億5千万円、382年度は5億5千万円、383年度は5億5千万円、384年度は5億5千万円、385年度は5億5千万円、386年度は5億5千万円、387年度は5億5千万円、388年度は5億5千万円、389年度は5億5千万円、390年度は5億5千万円、391年度は5億5千万円、392年度は5億5千万円、393年度は5億5千万円、394年度は5億5千万円、395年度は5億5千万円、396年度は5億5千万円、397年度は5億5千万円、398年度は5億5千万円、399年度は5億5千万円、400年度は5億5千万円、401年度は5億5千万円、402年度は5億5千万円、403年度は5億5千万円、404年度は5億5千万円、405年度は5億5千万円、406年度は5億5千万円、407年度は5億5千万円、408年度は5億5千万円、409年度は5億5千万円、410年度は5億5千万円、411年度は5億5千万円、412年度は5億5千万円、413年度は5億5千万円、414年度は5億5千万円、415年度は5億5千万円、416年度は5億5千万円、417年度は5億5千万円、418年度は5億5千万円、419年度は5億5千万円、420年度は5億5千万円、421年度は5億5千万円、422年度は5億5千万円、423年度は5億5千万円、424年度は5億5千万円、425年度は5億5千万円、426年度は5億5千万円、427年度は5億5千万円、428年度は5億5千万円、429年度は5億5千万円、430年度は5億5千万円、431年度は5億5千万円、432年度は5億5千万円、433年度は5億5千万円、434年度は5億5千万円、435年度は5億5千万円、436年度は5億5千万円、437年度は5億5千万円、438年度は5億5千万円、439年度は5億5千万円、440年度は5億5千万円、441年度は5億5千万円、442年度は5億5千万円、443年度は5億5千万円、444年度は5億5千万円、445年度は5億5千万円、446年度は5億5千万円、447年度は5億5千万円、448年度は5億5千万円、449年度は5億5千万円、450年度は5億5千万円、451年度は5億5千万円、452年度は5億5千万円、453年度は5億5千万円、454年度は5億5千万円、455年度は5億5千万円、456年度は5億5千万円、457年度は5億5千万円、458年度は5億5千万円、459年度は5億5千万円、460年度は5億5千万円、461年度は5億5千万円、462年度は5億5千万円、463年度は5億5千万円、464年度は5億5千万円、465年度は5億5千万円、466年度は5億5千万円、467年度は5億5千万円、468年度は5億5千万円、469年度は5億5千万円、470年度は5億5千万円、471年度は5億5千万円、472年度は5億5千万円、473年度は5億5千万円、474年度は5億5千万円、475年度は5億5千万円、476年度は5億5千万円、477年度は5億5千万円、478年度は5億5千万円、479年度は5億5千万円、480年度は5億5千万円、481年度は5億5千万円、482年度は5億5千万円、483年度は5億5千万円、484年度は5億5千万円、485年度は5億5千万円、486年度は5億5千万円、487年度は5億5千万円、488年度は5億5千万円、489年度は5億5千万円、490年度は5億5千万円、491年度は5億5千万円、492年度は5億5千万円、493年度は5億5千万円、494年度は5億5千万円、495年度は5億5千万円、496年度は5億5千万円、497年度は5億5千万円、498年度は5億5千万円、499年度は5億5千万円、500年度は5億5千万円、501年度は5億5千万円、502年度は5億5千万円、503年度は5億5千万円、504年度は5億5千万円、505年度は5億5千万円、506年度は5億5千万円、507年度は5億5千万円、508年度は5億5千万円、509年度は5億5千万円、510年度は5億5千万円、511年度は5億5千万円、512年度は5億5千万円、513年度は5億5千万円、514年度は5億5千万円、515年度は5億5千万円、516年度は5億5千万円、517年度は5億5千万円、518年度は5億5千万円、519年度は5億5千万円、520年度は5億5千万円、521年度は5億5千万円、522年度は5億5千万円、523年度は5億5千万円、524年度は5億5千万円、525年度は5億5千万円、526年度は5億5千万円、527年度は5億5千万円、528年度は5億5千万円、529年度は5億5千万円、530年度は5億5千万円、531年度は5億5千万円、532年度は5億5千万円、533年度は5億5千万円、534年度は5億5千万円、535年度は5億5千万円、536年度は5億5千万円、537年度は5億5千万円、538年度は5億5千万円、539年度は5億5千万円、540年度は5億5千万円、541年度は5億5千万円、542年度は5億5千万円、543年度は5億5千万円、544年度は5億5千万円、545年度は5億5千万円、546年度は5億5千万円、547年度は5億5千万円、548年度は5億5千万円、549年度は5億5千万円、550年度は5億5千万円、551年度は5億5千万円、552年度は5億5千万円、553年度は5億5千万円、554年度は5億5千万円、555年度は5億5千万円、556年度は5億5千万円、557年度は5億5千万円、558年度は5億5千万円、559年度は5億5千万円、560年度は5億5千万円、561年度は5億5千万円、562年度は5億5千万円、563年度は5億5千万円、564年度は5億5千万円、565年度は5億5千万円、566年度は5億5千万円、567年度は5億5千万円、568年度は5億5千万円、569年度は5億5千万円、570年度は5億5千万円、571年度は5億5千万円、572年度は5億5千万円、573年度は5億5千万円、574年度は5億5千万円、575年度は5億5千万円、576年度は5億5千万円、577年度は5億5千万円、578年度は5億5千万円、579年度は5億5千万円、580年度は5億5千万円、581年度は5億5千万円、582年度は5億5千万円、583年度は5億5千万円、584年度は5億5千万円、585年度は5億5千万円、586年度は5億5千万円、587年度は5億5千万円、588年度は5億5千万円、589年度は5億5千万円、590年度は5億5千万円、591年度は5億5千万円、592年度は5億5千万円、593年度は5億5千万円、594年度は5億5千万円、595年度は5億5千万円、596年度は5億5千万円、597年度は5億5千万円、598年度は5億5千万円、599年度は5億5千万円、600年度は5億5千万円、601年度は5億5千万円、602年度は5億5千万円、603年度は5億5千万円、604年度は5億5千万円、605年度は5億5千万円、606年度は5億5千万円、607年度は5億5千万円、608年度は5億5千万円、609年度は5億5千万円、610年度は5億5千万円、611年度は5億5千万円、612年度は5億5千万円、613年度は5億5千万円、614年度は5億5千万円、615年度は5億5千万円、616年度は5億5千万円、617年度は5億5千万円、618年度は5億5千万円、619年度は5億5千万円、620年度は5億5千万円、621年度は5億5千万円、622年度は5億5千万円、623年度は5億5千万円、624年度は5億5千万円、625年度は5億5千万円、626年度は5億5千万円、627年度は5億5千万円、628年度は5億5千万円、629年度は5億5千万円、630年度は5億5千万円、631年度は5億5千万円、632年度は5億5千万円、633年度は5億5千万円、634年度は5億5千万円、635年度は5億5千万円、636年度は5億5千万円、637年度は5億5千万円、638年度は5億5千万円、639年度は5億5千万円、640年度は5億5千万円、641年度は5億5千万円、642年度は5億5千万円、643年度は5億5千万円、644年度は5億5千万円、645年度は5億5千万円、646年度は5億5千万円、647年度は5億5千万円、648年度は5億5千万円、649年度は5億5千万円、650年度は5億5千万円、651年度は5億5千万円、652年度は5億5千万円、653年度は5億5千万円、654年度は5億5千万円、655年度は5億5千万円、656年度は5億5千万円、657年度は5億5千万円、658年度は5億5千万円、659年度は5億5千万円、660年度は5億5千万円、661年度は5億5千万円、662年度は5億5千万円、663年度は5億5千万円、664年度は5億5千万円、665年度は5億5千万円、666年度は5億5千万円、667年度は5億5千万円、668年度は5億5千万円、669年度は5億5千万円、670年度は5億5千万円、671年度は5億5千万円、672年度は5億5千万円、673年度は5億5千万円、674年度は5億5千万円、675年度は5億5千万円、676年度は5億5千万円、677年度は5億5千万円、678年度は5億5千万円、679年度は5億5千万円、680年度は5億5千万円、681年度は5億5千万円、682年度は5億5千万円、683年度は5億5千万円、684年度は5億5千万円、685年度は5億5千万円、686年度は5億5千万円、687年度は5億5千万円、688年度は5億5千万円、689年度は5億5千万円、690年度は5億5千万円、691年度は5億5千万円、692年度は5億5千万円、693年度は5億5千万円、694年度は5億5千万円、695年度は5億5千万円、696年度は5億5千万円、697年度は5億5千万円、698年度は5億5千万円、699年度は5億5千万円、700年度は5億5千万円、701年度は5億5千万円、702年度は5億5千万円、703年度は5億5千万円、704年度は5億5千万円、705年度は5億5千万円、706年度は5億5千万円、707年度は5億5千万円、708年度は5億5千万円、709年度は5億5千万円、710年度は5億5千万円、711年度は5億5千万円、712年度は5億5千万円、713年度は5億5千万円、714年度は5億5千万円、715年度は5億5千万円、716年度は5億5千万円、717年度は5億5千万円、718年度は5億5千万円、719年度は5億5千万円、720年度は5億5千万円、721年度は5億5千万円、722年度は5億5千万円、723年度は5億5千万円、724年度は5億5千万円、725年度は5億5千万円、726年度は5億5千万円、727年度は5億5千万円、728年度は5億5千万円、729年度は5億5千万円、730年度は5億5千万円、731年度は5億5千万円、732年度は5億5千万円、733年度は5億5千万円、734年度は5億5千万円、735年度は5億5千万円、736年度は5億5千万円、737年度は5億5千万円、738年度は5億5千万円、739年度は5億5千万円、740年度は5億5千万円、741年度は5億5千万円、742年度は5億5千万円、743年度は5億5千万円、744年度は5億5千万円、745年度は5億5千万円、746年度は5億5千万円、747年度は5億5千万円、748年度は5億5千万円、749年度は5億5千万円、750年度は5億5千万円、751年度は5億5千万円、752年度は5億5千万円、753年度は5億5千万円、754年度は5億5千万円、755年度は5億5千万円、756年度は5億5千万円、757年度は5億5千万円、758年度は5億5千万円、759年度は5億5千万円、760年度は5億5千万円、761年度は5億5千万円、762年度は5億5千万円、763年度は5億5千万円、764年度は5億5千万円、765年度は5億5千万円、766年度は5億5千万円、767年度は5億5千万円、768年度は5億5千万円、769年度は5億5千万円、770年度は5億5千万円、771年度は5億5千万円、772年度は5億5千万円、773年度は5億5千万円、774年度は5億5千万円、775年度は5億5千万円、776年度は5億5千万円、777年度は5億5千万円、778年度は5億5千万円、779年度は5億5千万円、780年度は5億5千万円、781年度は5億5千万円、782年度は5億5千万円、783年度は5億5千万円、784年度は5億5千万円、785年度は5億5千万円、786年度は5億5千万円、787年度は5億5千万円、788年度は5億5千万円、789年度は5億5千万円、790年度は5億5千万円、791年度は5億5千万円、792年度は5億5千万円、793年度は5億5千万円、794年度は5億5千万円、795年度は5億5千万円、796年度は5億5千万円、797年度は5億5千万円、798年度は5億5千万円、799年度は5億5千万円、800年度は5億5千万円、801年度は5億5千万円、802年度は5億5千万円、803年度は5億5千万円、804年度は5億5千万円、805年度は5億5千万円、806年度は5億5千万円、807年度は5億5千万円、808年度は5億5千万円、809年度は5億5千万円、810年度は5億5千万円、811年度は5億5千万円、812年度は5億5千万円、813年度は5億5千万円、814年度は5億5千万円、815年度は5億5千万円、816年度は5億5千万円、817年度は5億5千万円、818年度は5億5千万円、819年度は5億5千万円、820年度は5億5千万円、821年度は5億5千万円、822年度は5億5千万円、823年度は5億5千万円、824年度は5億5千万円、825年度は5億5千万円、826年度は5億5千万円、827年度は5億5千万円、828年度は5億5千万円、829年度は5億5千万円、830年度は5億5千万円、831年度は5億5千万円、832年度は5億5千万円、833年度は5億5千万円、834年度は5億5千万円、835年度は5億5千万円、836年度は5億5千万円、837年度は5億5千万円、838年度は5億5千万円、839年度は5億5千万円、840年度は5億5千万円、841年度は5億5千万円、842年度は5億5千万円、843年度は5億5千万円、844年度は5億5千万円、845年度は5億5千万円、846年度は5億5千万円、847年度は5億5千万円、848年度は5億5千万円、849年度は5億5千万円、850年度は5億5千万円、851年度は5億5千万円、852年度は5億5千万円、853年度は5億5千万円、854年度は5億5千万

# 「またお会いしましょう」

## 橋幸夫3回目の伯国公演

### 3千人が懐かしの曲にひたる

WILL株式会社(仲居長昇社長)が主催する「橋幸夫チャリティコンサートINサンパウロ」が5日、文協大講堂で開催された。正午と午後3時の2回公演に計3千人が来場し、会場は満員となった。公演では「潮来笠」をはじめとした懐かしの名曲を一緒に口ずさみ、楽しんだ。



「荒城の月」を歌い上げる橋さん

会場から熱烈的な拍手を受けた橋さんは、「日本人移民の方々が努力しておかげで、世界で一番日本人や日系人が頑張っている国」と語りかけ、「この曲はそんな皆さんと歌いたい」と「ふるさと」を観客と合唱した。

その後、橋さんとWILL株式会社の代表取締役社長から挨拶、懇話の希望の家、このものに寄付金目録が贈呈され、最後に「いつでも夢を」を会場全体で合唱した。最後に橋さんは「伯国の方に情熱は素晴らしい」と微笑んだ。

「曲を聴いたときに何を思い出すかが、僕の健康には大切」と公演の最後に語りかけた橋幸夫さん。「心の健康のため、20年ほど前から最後に歌っている」と語り、涙を流しながら披露した。

「曲を聴いたときに何を思い出すかが、僕の健康には大切」と公演の最後に語りかけた橋幸夫さん。「心の健康のため、20年ほど前から最後に歌っている」と語り、涙を流しながら披露した。

白スーツで登場した橋さんは、過去2回の伯国公演を振り返り、今公演開催へ感謝を述べた。当時の思い出を振り返りながら10曲をステージで歌った。観客の中には懐かしの曲に拍手を打ち、口ずさむ姿も見られた。第8回レコード大賞を受賞した「霧氷」を熱唱すると、会場はじつくりと聞き入った。次に緑地に黄色の模様が入った着物を着替え、祭りの華やかな雰囲気を持つ「花火音頭」を、観客の目を惹きつける「荒城の月」を歌った。また、主演ドラマの主題歌「子連れ狼」、新曲の「股旅ソング」も盛りだくさんで、会場を盛り上げた。

「潮来笠」が流れてきた。17歳の子が歌っているのを聴いたときは「伯国に来たときのことを思い出すわ」と感嘆した。

「終戦差し進んだ頃、種子島から飛び立ってゆく特攻隊の姿が今でも目の裏に焼きついていて、思ひ浮かべたという意の和歌だ。」

「曲を聴いたときに何を思い出すかが、僕の健康には大切」と公演の最後に語りかけた橋幸夫さん。「心の健康のため、20年ほど前から最後に歌っている」と語り、涙を流しながら披露した。

## 潮の変わり目に何をすべきか

### 商議所・部長シンポジウム

化学部品の競争激化、部長は、景気後退局勢で各社はリスクを恐れず、積極策に打って出ている。と見込んでおり、17年は明るい兆しになると総括した。

「種まきの準備を進める」

「種まきの準備を進める」

「種まきの準備を進める」

「種まきの準備を進める」

## ADESC「フエイラ」で伯人客増えた

### 総会で活発な活動の報告

農協婦人部連合会(ADESC)の定期総会が2月21日、市内の高知東人会館で開催され、500人余りが出席した。午前9時の二次集会で始まり、午後1時過ぎまでびっしりと議題をこなした。

「種まきの準備を進める」

「種まきの準備を進める」

「種まきの準備を進める」

「種まきの準備を進める」

「種まきの準備を進める」

「種まきの準備を進める」

「種まきの準備を進める」

「種まきの準備を進める」

「種まきの準備を進める」



山盛りの議題をこなす総会の様子

**a kenko hirose**  
健康食品  
プロポリス・アガリクス専門店  
日本への発送もしております。  
Rua Barão de Iguape, 208 - Liberdade - São Paulo  
Tel: (11) 3271-5608

Acupuntura  
Dra. MONICA Y. MORISHITA  
Biomédica 生物医科学  
Pós-Graduação em Acupuntura  
Rua Thomaz Gonzaga, 95-M (Iwate-kenjinkai)  
Liberdade - São Paulo - SP

**VIAÇÃO GARCIA**  
Diminuindo Distâncias. Aproximando Pessoas.  
LONDRINA / SÃO PAULO  
SÃO PAULO / LONDRINA  
MARINGÁ / SÃO PAULO  
SÃO PAULO / MARINGÁ  
INFORMAÇÕES: 0800 400 70 90  
www.viacaogarcia.com.br

**A VERDADE**  
SOBRE A GUERRA DO PACÍFICO  
太平洋戦争の真実をポルトガル語で  
R\$50  
ニッケイ新聞編集部・日系書店で販売中!  
太陽堂 (11)-3208-6588  
高野書店 (11)-3209-3313  
フォノマギ竹内書店 (11)-3104-3399

